

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間(分)	内容	手引等の有無	入手年度
企業	001	私自身をみてください	VHS (4)	27分	学校、地域、職場、家庭などあらゆるところで人権教育・啓発活動を推進し、人権文化を育てることが課題となっているが、私たちの意識や暮らしの中に固定観念や偏見が存在し、人権侵害の土壌となっている。このビデオは、固定観念・偏見を切り口に人権問題を総合的系統的に学習するために最適である。	学習の手引 チラシ	平成13年 (2001年) ※制作
企業	002	「私」のない私	VHS	30分	人権問題に気づいているのに行動できない主人公。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説の2部構成で問題提起している。人権研修やワークショップの教材ビデオとして最適。	学習の手引 チラシ	平成15年 (2003年)
企業	003	マイ・プロジェクト	VHS	60分	職場内でのいじめ、セクシュアルハラスメント、公正な採用選考、個人情報の取り扱いをめぐり、色々な人権問題にぶつかっていく中で解決に向け歩みはじめていく…。企業の同和問題、男女共同参画問題やインターネットを悪用した人権侵害に対する取り組みや人権問題に一人ひとりがどう対処すべきかも考えることで人権を尊重する行動につながることをねらいとしている。	チラシ	平成14年 (2003年)
企業	004	働きやすい職場をめざして ～こころの健康と人権～	VHS	25分	職場で「こころの病」に発展しがちなストレスのかかる状況をドラマで再現し、対応策と「こころの病」とは何かを解説した作品。ミニドラマと解説で構成。2007年作品。	チラシ (ビデオ内解説書)	平成19年 (2007年)
企業	005	二つめの門 —一枚の調書から—	VHS	43分	企業が独自に使用している管理用紙、いわゆる「社用紙」を通して、従業員一人ひとりがどのように感じているのか、そこに人権上の問題点が内在しているということに気づくのか気づかないのか、こうした問題に個人として、企業としてどのようにかかわっていくのか、ということ問いかけた作品。	チラシ	平成6年 (1994年)
企業	006	パワーハラスメント 働きやすい環境づくりを目指して【1】	VHS	20分	企業を取り巻く環境の変化にともないパワー・ハラスメント(パワハラ)が急増している。人権や職場環境義務を重視する企業・管理者に欠かせないパワハラの基本知識を解説する。	チラシ	平成16年 (2004年)
企業	007	パワーハラスメント 働きやすい環境づくりを目指して【2】	VHS	20分	企業を取り巻く環境の変化にともないパワー・ハラスメント(パワハラ)が急増している。人権や職場環境義務を重視する企業・管理者に欠かせないパワハラの基本知識を解説する。	チラシ	平成16年 (2004年) ※制作
企業	008	勇気への出発(たびだち)	VHS (2)	52分	総合職をめざし入社したにもかかわらず、雑用ばかりの仕事に女性差別を感じる麻生香菜、社内外で日常的に飛び交う差別的言葉に胸を痛める同期で同和地区出身の志田順一。言いたい事が言える会社、人間を大切にす企業をみんなでつくろうと動きだす。 滋賀県商工労働部	チラシ	平成11年 (1999年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間(分)	内容	手引等の有無	入手年度
企業	009	私の質問状	VHS (2)	32分	「営業課滝川亜矢、4月1日付けを持って、営業課総合職を命ずる。」ドリーム不動産に入社して2年。やっと念願がかなった亜矢。そして、先輩の猪木健太郎とコンビを組み、順調なスタートをきったかに見えたが…	チラシ	平成7年 (1995年)
企業	010	就職差別をなくすために	VHS	25分	就職差別にスポットを当て、統一用紙が何故制定されたのか経緯や趣旨、また差別選考の実態などを描くことにより、様々な差別の厳しさを浮き彫りにする。そして、差別問題解消には、まず人権尊重の視点に立つことが大切であると訴えていく。	チラシ	平成7年 (1995年)
企業	011	ザ・会社	VHS	30分	下請けへの参加強要という、えせ同和行為に直面したある会社の担当者を主人公に、彼が何に悩み、その問題にどう対処し、そしてどう解決していくのかを、彼の心理的葛藤と会社での上司とのやり取りを中心に、わかりやすく具体的に描いた作品。	チラシ	平成5年 (1993年)
企業	012	一枚の案内状	VHS	30分	営業成績を伸ばそうと、必死に働く主人公。ある日課長から、人権啓発の研修会に行くように言われる。研修会など、営業には関係ない！と思っていた主人公であったが…。	なし	昭和63年 (1988年)
企業	013	公正な採用って？	VHS	29分	公正採用選考人権啓発推進員に任命された川崎紀子は、先輩社員の投げかける設問に戸惑いながらも、役割を全うしようと研究を始める。「職業安定行政機関との連携」「公正な採用選考システムの確立」「経営問題と人権問題の展望」等、整理しながら学んでいく。	なし	平成11年 (2000年)
企業	014	差別のない採用選考 1・採用選考の基本	VHS	29分	「職業選択の自由」は基本的人権の一つで、憲法がすべての国民に保障しているが、これは雇用する側が正しい採用選考をし、採用後の人事管理も正しく行なう必要があるということである。差別のない公正な採用選考を実践するために、労働省が企画した作品。	なし	平成6年 (1994年)
企業	015	差別のない採用選考 2・採用選考の実践	VHS	30分	「職業選択の自由」は基本的人権の一つで、憲法がすべての国民に保障しているが、これは雇用する側が正しい採用選考をし、採用後の人事管理も正しく行なう必要があるということである。差別のない公正な採用選考を実践するために、労働省が企画した作品。	なし	平成6年 (1994年)
企業	016	人権感覚のアンテナって？	VHS (3) DVD (3)	39分	何気なく悪気無く、また自分にとって都合が良いからといって、結果、人を貶め、苦しめてしまう「落とし穴」。「知らない」「見えない」「考えない」から生み出される、誰もが陥りやすい落とし穴だからこそ、偏見や差別、人権侵害について正しく知り、話しあい、学びあうことが大切である。そして、人権感覚のアンテナを張り、私たちの日常生活における意識と行動を見直してみよう。	VHSのみ学習の手引 チラシ	平成18年 (2006年) ※制作

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間(分)	内容	手引等の有無	入手年度
企業	017	パワー・ハラスメントと人権 ー見直そう、職場と家庭の人間関係	VHS (2) DVD (2)	43分	パワー・ハラスメント(職場のいじめ)は、自分が被害者にも加害者にもなり得るものであり、私たち一人ひとりの人権と深い関係があります。多くの人にとって身近な問題であるパワハラについて考え、自分自身の人権や、職場や家庭等の身近な人とのコミュニケーションのあり方を見つめなおしてみようという作品。進行方法や話し合うポイントを解説した「学習の手引き」付き。2008年作品。	VHSのみ学習の手引チラシ	平成20年 (2008年) ※制作
企業	018	職場の人権 ～相手のきもちを考える～	VHS	27分	社員相談室の新人相談員が、パワハラやセクハラなど職場におこるさまざまなトラブルや悩みに遭遇することによって、相手の気持ちを考えるとはどういうことなのか、多様な人々が働く職場においてコミュニケーションがいかに大切なのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描いています。「解説書」付き。2008年作品。	解説書 チラシ	平成20年 (2008年)
企業	019	内定者からの手紙 公正な採用選考のために	DVD	26分	採用選考の際には、応募者の基本的人権を尊重し、適正と能力のみを判断基準とする公正な選考を進めることが基本です。このビデオでは人権尊重の意識が採用選考のプロセスの隅々まで、さらに会社全体まで広くいきわたることの重要性をテーマにストーリー構成をしています。	チラシ	平成21年 (2009年)
企業	020	企業に求められる人権意識とは？	DVD	24分	企業の社会的責任として求められる人権意識とは何かを、若い社員の目を通して描き出しているドラマです。	チラシ	平成22年 (2010年)
企業	021	メンタルヘルスと人権	DVD	30分	メンタルヘルス(心の健康)ケアの重要性を気づかせてくれる内容です。生き生きと働ける職場づくりを実現するためのセルフケアと職場のラインケア、また、家族の関わり方を考えます。	なし	平成22年 (2010年)
企業	023	私が私らしくあるために 職場のコミュニケーションと人権	DVD	26分	どこにでも見られる職場の日常風景。しかし、その中にあるちょっとしたコミュニケーションの失敗が仲間を傷つけてしまうことがあります。職場のコミュニケーションを見つめ直す、ドラマ形式の作品です。	ワークシート・解説書	平成23年 (2011年)
企業	024	それぞれの立場 それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	DVD	28分	ハラスメントのない職場をつくるために、日頃のコミュニケーションの重要性が叫ばれていますが、最近では「ダイバーシティ(多様性)」が人権的な視点として注目されています。職場で働く仲間の多様性を理解し認め合えれば、仲間も自分も生き生きと働ける環境を作れるのではないのでしょうか。	解説書	平成23年 (2011年)
企業	025	心のケアと人権 職場編	DVD	22分	配置転換後にストレスと仕事の過重により欠勤がちとなり、病院でうつ病と診断された主人公の中堅サラリーマン。これに対し周囲は「さぼり」や、「仕事のできない言い訳」などの陰口を叩く。今後の対処について悩んだ上司は人事労務担当の課長と面談し、何でも話し合え、お互いに支えあう職場環境作りをめざす。	なし	平成23年 (2011年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間(分)	内容	手引等の有無	入手年度
企業	026	パワハラになる時ならない時 パワーハラスメント 4つの判断基準	DVD	25分	パワハラの認定は業務や日頃の人間関係のあり方によって大きく異なるため、パワハラとなる可能性のある言動とそのジャッジのポイントを事例で示し、わかりやすく解説する内容です。	活用ガイド	平成24年 (2012年)
企業	027	本当の出会いのために ～エントリーから始まる公正 採用選考～	DVD	24分	企業の採用選考におけるエントリーから筆記試験、面接といった一連の流れの中で、いかにして受験者の基本的人権を守り、企業にとっても受験者にとっても望ましい採用選考のあり方が実現できるかを、ドラマスタイルで提起していきます。	なし	平成23年 (2011年)
企業	028	自他尊重のコミュニケーション と職場の人権1 ハラスメントの視点から	DVD	23分	働きやすい職場環境をつくるには、社員それぞれがお互いの立場を理解し尊重しあい、適切にコミュニケーションをとっていくことが大切です。この教材は、職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝え、どうすれば健全な職場環境を育てることができるか皆で考えていくための教材です。	なし	平成25年 (2013年)
企業	029	自他尊重のコミュニケーション と職場の人権2 相手の立場を考える	DVD	23分	この教材では、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。それぞれのエピソードでは、お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。	なし	平成25年 (2013年)
企業	030	わかったつもりでいませんか？ セクハラ対策の新常識1 セクハラになる時、ならない時	DVD	24分	どのような時にセクハラになり、どのような時にはならないのか。セクハラをめぐるこの永遠のテーマを、カラオケのデュエットなどを例に考える。また同じ言動が、相手によってセクハラになったりならなかったりする理屈を、アニメを用いて分かりやすく解説。他に人権侵害型とジェンダー型のグレーな事例を詳しく解説。	活用ガイド	平成25年 (2013年)
企業	031	わかったつもりでいませんか？ セクハラ対策の新常識2 あなたならどうする？	DVD	25分	ディスカッション用の事例ドラマと、考えるヒントとしての設問・解説によって構成。微妙なセクハラ事例の当事者となったとき、どのような対応をすればよいかを考える教材。	活用ガイド	平成25年 (2013年)
企業	032	堺シテイレポ 「働きたい」を応援します	DVD	13分	就職困難者の方への支援、雇用主の方への啓発などの市の取り組みを紹介しながら、働く意欲のある方が生き生きと働くことができる社会づくりについて考える番組とします。	なし	平成26年 (2014年)
企業	034	新・人権入門	DVD	25分	企業における人権課題を16のショートドラマでわかりやすく解説。視聴者がドラマの出演者と一緒に学び、悩み、考えることのできる教材です。	チラシ	平成26年 (2014年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間(分)	内容	手引等の有無	入手年度
企業	035	事例で考える パワハラ解決法 ①パワハラと熱血指導	DVD	23分	管理職として部下へ、当たり前前の指導をしているつもりが、もしパワハラだと言われたら？この教材では“熱血指導”部長、部長と見解の異なる主任、その間で奮闘する課長の三者をドラマで描き、パワハラにならない指導のあり方を解説します。	なし	平成27年 (2015年)
企業	036	事例で考える パワハラ解決法 ②パワハラ解決技法	DVD	25分	職場を蝕むパワハラには迅速な対応が欠かせません。パワハラ等の兆候・訴えがあった場合のタイプ別の解決技法を、ドラマと解説によって分かりやすく展開します。	なし	平成27年 (2015年)
企業	037	ワークライフバランス ・なぜワークライフバランスが 求められるのか ・ワークライフバランスを実現 するために	DVD	50分	働き方や価値観の多様化が進むなか、注目を集めるワークライフバランス。その実現には当事者(管理者・社員)の意識改革が欠かせない。長時間残業、子育てや介護と仕事の両立など仕事にまつわる問題と、ワークライフバランスを実現するための取組みや心構えを説く。	なし	平成27年 (2015年)
企業	038	外国人労働者問題から多民族共生を考える	VHS	32分	企業と労働者の双方から描いたドキュメンタリー。アジアから多くの研修生や留学生が、日本で働いている。高学歴なのに3Kといわれる職場で働く日本生まれのベトナム人、苦労して日本の大学を出たのに日本企業に失望して10人に8人は帰国する中国人留学生、時代は変わってきたけど、面接では、未だに「弁当にキムチ？」と言われる嘆く在日コリアンなど様々な外交人労働者の様子が描かれている。	なし	平成19年 (2007年)
企業	039	出産・育児への理解がない ～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～	DVD	26分	「マタニティ・ハラスメント(マタハラ)」とは、働く女性が妊娠・出産を理由に解雇されたり、雇用を拒否されたり、妊娠・出産にあたって職場で受けるハラスメントのことです。本作品は、ある会社のハラスメント相談員が、マタハラに悩む女性社員から相談を受けたことをきっかけに、マタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していく内容になっています。	なし	平成27年 (2015年)
企業	040	私たちのコンプライアンスⅢ 「知らない」ではすまされな い！ 社会人の責任	DVD	90分	コンプライアンス違反の内容は多岐にわたります。しかし、「これはコンプライアンス違反だ」と判断できない事例が多くあります。それは、法律や会社の規則に違反していなくても、“社会人としての常識・良識”から外れている言動もコンプライアンス違反になるからです。 本DVDは、単なるコンプライアンス教育にとどまらず、社会人としての正しい考え方・行動を学ぶものです。コンプライアンス違反をなくすために、そして社会人としてのものの見方・考え方を学ぶためにご活用ください。	学習の手引	平成28年 (2016年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間 (分)	内容	手引等の 有無	入手年度
企業	041	フェアな会社で働きたい	DVD	25分	企業がさまざまなステークホルダー（顧客、従業員、株主、取引先、地域社会、行政機関）の人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっています。 しかし、社員が人権について具体的に自分のこととしてとらえることは、難しい事でもあります。このDVDでは、人事部の新入社員の体験をドラマにして、企業における人権のありかたと公正な採用選考について学ぶ教材として制作しています。	学習の手引	平成28年 (2016年)
企業	042	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか	DVD	25分	いま、企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。そこで、この作品では、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすかということ、ドラマ形式で事例をとりあげながら考えていきます。	解説書	平成29年 (2017年)
企業	043	パワーハラスメントを考える ②パワハラにならない叱り方	DVD	27分	指導・叱責はコミュニケーションの一環で行われることが大切であり、相手に正しく伝わらなかつたり、受け入れられなければ意味がありません。このDVDは、3つのケースから部下にどう対応すればいいのか、パワハラにならない叱り方、指導法を解説する管理職向け教材。	活用ガイド	平成29年 (2017年)
企業	044	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	DVD	40分	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れ、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。 このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	活用の手引き	平成29年 (2017年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間 (分)	内容	手引等の 有無	入手年度
企業	045	見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセク シュアルハラスメント	DVD	29分	性について考えるとき、単純に「男性/女性」だけでなく、様々な切り口があります。男性だと思 う人、女性だと思う人、中性だと思う人、性別は 決めたくないという人など様々なあり方がありま す。性的マイノリティといっても、決してひとくくり にはできません。本当に様々な「人生」があり、 その問題やニーズも様々です。性的マイノリティ の問題は、テレビの中の話でも外国の話でもあ りません。誰もがどこかで関わりがある、家族の 話、親戚の話、友人の話、同僚の話なのです。 このDVDでは、職場における性的少数者に対す るセクシュアルハラスメントについて考えます。	なし	平成29年 (2017年)
企業	046	なぜ企業に人権啓発が必要 なのか	DVD	22分	企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう か？具体的な人権課題を並べてみましょう。頭 では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動し なければいけないと知っているとは思いますが、 では、自分の日々の業務の中で、何ができる のでしょうか。 この教材は、人権啓発を考えるためのヒント を、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切 り取ったわかりやすいドラマとして構成し、改め て考えていただくための素材としてご活用いた だけるよう制作しました。	キ ー ワ ー ド 集・ワ ー ク シ ー ト	平成30年 (2018年)
企業	047	気付いて一歩ふみだすた めの人権シリーズ⑥ わからないから、確かめ合 うーコミュニケーションー	DVD	29分	昨今、長時間労働による過労死、セクハラや パワハラなどのハラスメント、不当な差別など、 企業に関わる様々な「人権問題」がメディア等 で大きく取り上げられます。こうした人権問題へ の対応は、時として、企業の価値に大きく関わり ます。そのため、企業の社会的責任(CSR)や社 会的責任投資(SRI)に対する関心の高まりと相 まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針 に採り入れたり、職場内で人権に関する研修を 行う企業も増えてきています。 今作「わからないから、確かめ合う」では、ハラ スメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業 が直面する可能性が高いテーマを中心に取り 上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニ ケーション」を提示しています。 だれもが暮らしやすい社会絵を目指して、一 歩ふみだしましょう。	解説書	平成30年 (2018年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間 (分)	内容	手引等の 有無	入手年度
企業	048	企業活動に人権的視点を① ～CSRで会社が変わる・社会 が変わる～	DVD	103分	このビデオは、経済産業省中小企業庁の委託 事業として、CSR(企業の社会的責任)や人権課 題に関する企業の取組を啓発推進することを目 的に、平成14年度から平成25年度に各地で開 催した『『企業の社会的責任と人権』セミナー』に おいて、CSRと人権課題に積極的に取り組まれ ている企業に発表いただいた実践事例の中か ら、企業にとって関心の高いテーマに関する事 例を分かりやすくまとめたものです。各事例で は、協力いただいた企業の経営者や従業員な どにおける実際の取組の様子や地域の人々の 声などを紹介しています。また、専門家による各 事例の取組のポイントやCSRと人権課題に関す る解説も収録しています。 1 障がい者雇用 2 高齢者雇用 3 ワーク・ライフ・バランス 4 継続的な震災復興支援 5 人権に関する社会貢献	解説書	令和元年 (2019年)
企業	049	企業活動に人権的視点を② ～会社や地域の課題を解決 するために～	DVD (2)	96分	経済活動のグローバル化や技術革新などに より、企業が社会に与える影響は、ますます大 きくなっています。これに伴い、地球環境への関 心が広がり、国際的な人権意識の高まりなど、 企業が果たすべき社会的責任・CSRが問われ る時代になってきました。 企業は、顧客、取引先、株主、地域社会、従業 員など、実に様々な人々と関わりながら活動 をしています。多くの人から支えられている企業 であるからこそ、これらの人びとに誠実に対応し ていく必要があります。このビデオでは、どのよ うに取り組むことが企業内外の人のためになり、 地域や環境のためにもなるのか、先進的な5つ の取組事例を紹介しています。 1 ユニバーサルデザイン 2 ワーク・ライフ・バランス 3 外国人雇用 4 LGBTへの対応 5 地域社会への貢献(SDGs)	解説書	平成30年 (2018年)
企業	050	お互いを活かすための人 権シリーズ① 多様性入門	DVD	27分	この教材では、多様性とは、ある集団が多様 な人を受け入れるという認識ではなく、集団に 属する全ての個人がそれぞれに個性を持ち、そ れぞれの違いをお互い認め、活かすことだ ということをテーマに据えています。このテーマ について、身近で誰もが経験する事例を丁寧 に解説することで、多様性尊重への入門編とな るような内容です。 1 外国人イノベーション 2 コミュニケーションの多様性 3 多様性尊重とは	解説書 ワーク シート	令和元年 (2019年)

企業関係

★は映像等の乱れあり

分野	番号	タイトル	種類	時間 (分)	内容	手引等の 有無	入手年度
企業	051	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	DVD	35分/ 13分	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。 法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。	なし	令和5年 (2023年)